

《参考資料》

第2回 市立中学校再編に関する住民説明会  
に対する市議会の主な質問・意見

## 【総務文教委員会：28年4月8日】

- まちづくりとの関係をどう捉えているか。
- 再編は経費削減のためではないが、経費削減も目的にあるはずだ。
- 学校自由選択制を導入したら、生徒数に偏りが出て収拾がつかなくなるのではないか。
- 校区再編は教育の根幹にかかわる問題だ。
- 再編は地域コミュニティの衰退につながる。
- 審議会が2校を特定したら、住民は決定と受け取るのではないか。
- 平成18年からの学校再編の経過を時系列で説明してほしい。
- 市教委は長いこと再編問題を放置しておいて、たった2回の議会説明で2校の特定までするのか。
- 猪位金学園の検証は終わったのか。また、今回の再編に反映させたのか。
- 敷地面積 26,000 m<sup>2</sup>の根拠は何か。また、26,000 m<sup>2</sup>ならその条件を満たす4校が対象となるのではないか。
- 伊田中横の医師住宅は市の土地であり活用できないか。また、法面の活用はできないか。
- 日通工の土地は本当に活用できるのか。
- 金川の請願が無視されているのではないか。
- 2月に東西4パターンが示されたが、内容を簡単に変えすぎだ。
- コンパクトシティの考え方が入っていないのではないか。
- 田川市の歴史の流れを無視している。
- 今後、十分に住民や議会と協議をしてほしい。

## 【厚生委員会：28年4月11日】

- なぜ、議会への説明が遅れたのか（もっと早く原案は完成していたはずだ）。
- 家から学校が遠くなると、他市町村の学校へ行く可能性が増える。
- 2校でなく、もっと学校を増やせないのか。
- 発言しない人の意見も反映できないか。
- 開校までのスケジュールは大丈夫か。
- 経費節減ではないと言っているのだから、1～2校増やしたらどうか。

- 再編には賛成だが、金川にも一貫校を作るべきだ。
- 弓削田は定住者が多いので、弓削田を中心にもって行ってほしい。
- 猪位金が例外的に進められている。猪位金も審議の対象としてほしい。
- 通学距離は、直線でなく実際の距離というなら、その実態にあった資料を作ってほしい。
- 学級数をもう少し減らし、学校を増やす方法もあるのではないかな。
- 学校選択制を採用すれば人数が偏り、校区再編の考えと違うものになるのではないかな。
- 通学路の安全を図ってほしい。具体的な経路を示し、歩道を作るなどしてほしい。

## 【建設経済委員会：28年4月12日】

- あと10カ月で基本計画ができるのか。
- 田川市の文化や連携を考慮しながら再編を考えないと禍根を残す。
- なぜ、後藤寺中は面積が広いのに対象にならないのか。
- 大浦小と後藤寺小が進学先が別々に行くことになるが、計画変更はあるのか。
- 18年答申は地域コミュニティを重視している。今回の答申には触れていないが、どう整理するのか。
- 今、市立中学校に通っていない11%の子ども達が、再編後には市立中学校へ通うという考えか。
- 田川科学技術高校は今後、面積を増やすことは考えられるのではないかな。中心市街地に人が多く住めるような方策も必要ではないかな。
- スクールバスを利用する子が部活で遅くなった時の安全への担保が必要だ。
- 26,000㎡ある後藤寺中が対象となっていないのはなぜか。河川敷を入れると面積は足るのではないかな。
- 猪位金学園は5教科の教員は複数配置されているのか。
- 教員が不足と言うなら、ある学校の教員が他校に行って教えることはできないのか。
- 金川の一貫校を認めないなら、この際私立へいくという子もいるのではないかな。
- 中央中には市役所駐車場も面積に入れていいのではないかな。教育委員会と議会、市当局と話し合うべきだ。
- 地図上に描いた円と実際の距離は違ってくるのではないかな。
- 指定された学校ではない方が、距離的に近い場合もあるのではないかな。

## ・・・住民説明会 4月12日～4月27日・・・

### 【総務文教委員会：28年5月30日】

- ・説明会で発言しにくかったという人はどういう人たちか。保護者の参加が少ないということ踏まえて、今後、保護者の意見を集約する機会をつくろうということか。
- ・審議会と教育委員会と議会で再編案をまとめる場をつくらないと、意見がもつれてしまうのではないか。
- ・多くの会場に足を運んだ。それぞれの会場で、猪位金をどうするか、通学の安全性の問題、金川の小中一貫校の問題の3つが出された。これをそのままにして、この答申案が最終答申となったら、相当な反発が出てくると思う。
- ・今後、再編をすると学力があがる、部活が活性化するなどの詳細な説明をしていくことで、意見がまとまって行くと思う。保護者も田川市の学力や部活の実態をきちんと理解すべきだ。
- ・なぜ、再編統合が必要なのかが住民に伝わっていない。田川の教育はこうあるべきという目的に向けて、再編は手段であることを説明すべきだ。
- ・基本計画を審議会代表・議会代表・教育委員会の3者で作って行くという考えはないか。

### 【厚生委員会：28年5月31日】

- ・参加対象者が全員出席したら何人になるのか。
- ・保護者の参加が少なかったとのことだが、何を根拠に少ないと言えるのか。
- ・会場別の回答結果で参加者が内容を概ね理解したとのことだが、今後、審議会に上申する内容はどのようなことか。
- ・今回の説明会で出た様々な意見を審議会に上申できるのか。猪位金学園の問題と金川の小中一貫校の問題をきちんと整理すべき。弓削田校区からも「西区が弓削田、金川、後藤寺、田川の4校になるのか。金川が小中一貫にならないのならば、猪位金も一貫校をやめて、再編案を考え直すべきではないか。」という考えがでてくる。
- ・猪位金も一貫校として残すのであれば、金川も一貫校にすべきだ。その上で、東区は、

鎮西、中央、伊田、西区は弓削田、後藤寺、田川にすると良いと思う。

- 今回の審議会案はもう変えないということか。
- 確認を2点したい。教育長は、「猪位金の小中一貫校はこのまま残す。金川の請願は無視する。」と考えてよいのか。
- 弓削田の人口動態は動きが少ない。なのに、なぜ弓削田が田川中学校に行かないといけないかという意見が多い。金川が小中一貫校になれば、弓削田を中心として検討していただきたい。
- 審議会に説明をして審議会から答申を受けるとのことだが、教育委員会はそういうことで良いのか。教育委員会は主体性をもってほしい。学校再編は多くの課題がある。はずされる校区の参加者は多い。何も3校にこだわらなくてもいいのではないか。教育委員会がもっている案をもっと審議会に出していくべきだ。住民説明会ででた意見のほかにもたくさん意見はあると思う。例えば、自転車事故で億単位の保障が必要との話もあり、できるだけ自転車通学がない方向で検討するなど必要ではないか。猪位金の件も問題になっているが、これをはずせと言っても、すでに一貫校は出来ておりこれまでにかけた予算の問題もある。猪位金はそのままあって良いと思うので、学校数はもっとあって良いと思う。今まで説明会等ででた意見が審議会に反映されるのか。いろいろな意見を聞いた教育委員会が中心となって進めて行くべきだ。
- 「市教委が直接的に検討する段階ではない」とあるが、教育委員会が関与するのはどの段階なのか。
- 答申を教育委員会はそのまま受け止めるのか。
- その段階（基本計画案段階）で議員の意見が反映されると考えていいのか。
- まだまだ、議員の意見を聞く機会があると考えてよいか。
- 猪位金一貫校ができた理由に「通学距離」の問題が上げられているが、自分は承知していない。猪位金の一貫校を作ったのは、中一ギャップの解消でなかったのか。
- 「通学距離が遠く、猪位金が再編の対象からはずされた」というのはどこから出た文書か。
- 猪位金に小中一貫を作ったのは、中一ギャップの解消ではなかったのか。モデル校としてしたのであれば、2年か3、4年して検証して良ければそれを他に広げて行かないといけない。
- 過去の経緯をしっかりと踏まえた文章であってほしい。
- 再編に向かう保護者の参加が少なかった。新聞報道が先行したので、もう決まったもの

とあきらめて来なかった人がいた。来ていない人の意見もしっかり聞いて、答申に生かすべきだ。統合は、地域を崩壊させるという考えもあり、住民の意見を慎重に丁寧に聞いていかないといけない。住民が合意できる内容にしていくべきだ。田川校区と中央校区の境などから鎮西に行かないといけないなどの問題も出ている。しっかり住民の意見を聞いてほしい。

- 審議会に諮問する時には、教育委員会の考えがあつてのことと思う。全校区から小中一貫の請願ができる可能性も有る。そんな中で答申がでたら、審議会に突き返すこともできないので、教育委員会で考えを固めて審議会へ出すことも考えられないか。
- アンケート結果や議会の意見などもその都度、審議会へ返しているということか。議員の意見を言う機会もまだあるとのことなので、難しい問題なので慎重に扱ってほしい。
- 校区ごとの意見はホームページに掲載するとあるが、市政だよりには掲載しないのか。田川市の全家庭でホームページを見られるような環境にあるのか。あくまでも市政だよりがベースである。中学校再編は大賛成である。
- 子どもが減る話ばかりでさびしいと思う。将来も見越して、人口が増える政策を踏まえながら若い人の住んでもらう考えが必要。だから学校を増やしても良いのではないかと。弓削田は住宅を増やしている。猪位金はモデルで始めたが、良かったと思うならこのままで良いと思う。金川のことも要望しておく。

## 【建設経済委員会：28年6月2日】

- スライドがたいへんよくできていた。答申は伸びるとのことなので慎重に検討してほしい。教育委員会の考え方とあり方審議会の考えの整理をしてほしい。本来、再編は中規模校を作ることだが、小規模校の猪位金はどうなるのか。猪位金の子が公平に教育を受けられるのかを議論してほしい。猪位金が再編の対象から外されたという意味がよくわからない。猪位金も再編の対象にしたら根本から案が変わってくるのではないかと。
- 文科省の通学距離の考え方が変わったのであれば、もっと議論ができると思う。猪位金を作った時に「中一ギャップを解消する実験的な取組を進め、それを市内各校へ広げる」ということだったが、2校再編になった時にそれが反映可能なのか。また、猪位金を残す場合には残す理由を明確にしてほしい。豊かな教育環境をつくることを忘れないでほしい。

- あり方審議会は今まで何回行われているのか。
- 審議会が報告書を出すのはいつごろか。
- スライドは教育委員会が作ったのか、あり方審議会の考えを反映しているのか。
- スライドは、あり方審議会の答申案と言う認識で良いのか。
- 平成18年以前から学校再編が考えられている。審議会答申を早く出してもらった方が  
良い。教育委員会の考えが出た時に議員の意見が言える。再編には賛成でも手法によれ  
ば反対にもなる。なぜ、あり方審議会が学校を特定するのか疑問だ。スライドを見れば  
再編を早めないといけないと考えるが、審議会には意見が言えない。様々な議員の意見  
を出せるように、答申を早く受けてその後教育長が中心となって基本計画案をつくり、  
議会と良い方向に進めていった方が良い。
- 小中一貫校が良いのなら、全部の学校を小中一貫校にした方が良い。かつて田川小でオ  
ープン教室をつくったが、それが市内に広がっていない現実もある。教育の基本だけは  
守って行ってほしい。学力向上も大切だが、ついていけない子をどう引き上げて行くか  
も大事だ。
- あり方審議会の答申にとらわれない形で教育委員会の考えを示したい、とのことだが、  
学校数についても変更の可能性があると捉えてよいか。
- 「2校も含めて決定ではない」と捉えてよいのか。
- 後でも良いが、期待しているのは教員数が増えるとのことだが、持ち時間が決まってい  
るので、学級数が増えないと教員が増えないということをはっきりしてほしい。
- 部活等の朝、夕の時間を確保するには、スクールバスをきちんと確保することを明確に  
すべきだ。
- 猪位金の人口が増えるのは難しいが、学校の校区を広げる考えはあるのか。
- 猪位金に新しい家が建つことはないだろう。地域的なことを考えて進めて行ってほしい。
- 少しでも早く各論について教育委員会と議論できるようにしてほしい。再編した中学校  
に複数の小学校がぶらさがる形での義務教育学校はあるのか。
- その場合、学校方針は同じだが、学校行事は別々ということも考えられるのか。